

chromID™ Vibrio (VID)**chromID™ Vibrio Agar (VID)***Vibrio* 属の選択分離及び *Vibrio cholerae* および *Vibrio parahaemolyticus* の推定同定用発色基質培地**用途**

chromID™ Vibrio は、ほとんどの *Vibrio* 属を選択的に分離することができ、またコレラ菌 (*Vibrio cholerae*) および腸炎ビブリオ (*Vibrio parahaemolyticus*) の推定同定が可能です。

食品、動物用飼料、食品製造および作業場所の環境由来検体に適用可能です。

コレラ菌 (*Vibrio cholerae*) および腸炎ビブリオ (*Vibrio parahaemolyticus*) は重篤な腸疾患を引き起こす原因菌です(1)。ビブリオは、高濃度の塩分に耐性で、様々な水環境(汽水および海水)で生存します。このため、多くの場合は、食品または水が汚染源となります。

消化管内の推定病原性ビブリオの検出方法には、米国 BAM 法や ISO/TS 21872-1 があります。これらの試験法には、選択分離に TCBS 寒天培地に加え 1 種類の異なる選択培地を組み合わせ使用することが記載されています。

原理

本培地に含まれる各種ペプトンと糖類によりほとんどのビブリオが生育可能です。また、特定の酵素と反応する発色基質により、コロニーの色調によるコレラ菌 (*Vibrio cholerae*) および腸炎ビブリオ (*Vibrio parahaemolyticus*) の推定同定が可能です(バイオメリュー社特許)。

選択剤混合物はほとんどのグラム陽性菌、ビブリオ以外のグラム陰性菌、酵母の発育を抑制します。

REF43761	調製済み培地 平板培地 (90mm) 10 枚 × 2 パック VID*
----------	--

*各シャーレに印字

組成**理論値**

性能を確保するため、若干変更される場合があります。

カゼインペプトン(ウシ)	16.90g
肉エキス(ウシまたはブタ)	0.5g
大豆ペプトン	5g
塩化ナトリウム	6g
炭酸ナトリウム	0.85g
ニュートラルレッド	0.01g
糖類混合物	18.50g
胆汁酸塩(ウシまたはブタ)	0.60g
発色基質混合物	0.125g
選択剤混合物	0.033g
寒天	13g
精製水	1l

pH7.2

必要な器材

- ふ卵器

追加試薬

- ID 32 E アピ[®] (Ref.32407)
- API 20 107 (Ref.)
もしくはそれ以外のバイオメリュー社製の微生物同定システム

使用上の注意

- *in vitro* 試験、微生物試験にのみご使用下さい。
- 熟練者のみご使用下さい。

- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。これらは潜在的に感染の可能性のあるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(摂取または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、微生物培地、そして検体を接種した製品は伝染性であるものとして適切にお取り扱い下さい。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱い下さい。**安全ガイドライン**: CLSIM-29A, «Protection of Laboratory Workers from occupationally Acquired Infections ; Approved Guideline – Current Revision» **操作留意事項**: Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories – CDC/NIH – Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- パッケージの損傷した製品は使用しないで下さい。
- コンタミネーションの起きている培地または水分の浸出している培地は使用しないで下さい。
- 性能試験データは、本添付文書に記載されている使用方法に従って得られたものです。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。
- 色覚異常を伴う方の使用は、困難な場合があります。

貯蔵条件

- 箱未開封の状態、2-8°C下で有効期限まで保管可能です。
- 箱開封後セロファン袋中では、2-8°C下で 2 週間保管可能です。
- 光に暴露しないで下さい。

検体

検体の採取や処理に関しては、最新の標準法に従って下さい。

使用法

(ISO/TS 21872-1 記載の試験法に基づく一例)

1. 培地を室温に戻します。
2. 検体をアルカリ生理食塩ペプトン水で前増菌した後、培養液を本培地に塗抹します。
3. フタを下にし、好気条件下、37°Cで培養します。なお培養温度は、目的および準拠する標準試験法に従い、使用者の責任において選択してください。
4. 24 時間培養します。
培養開始から48時間後にのみ判定を行う場合、37°Cで24時間培養後に2-8°Cで保管することを推奨します。

判定

- 培養後、菌の発育を確認します。
- 特徴的なコロニーを確認します。
ーコレラ菌 (*Vibrio cholerae*) : 青、青緑もしくは緑色
ー腸炎ビブリオ (*Vibrio parahaemolyticus*) : ピンク色

注意

- ーほとんどの *Vibrio vulnificus* は青色のコロニーを形成します。
- ー白色もしくはベージュ色のコロニーは *Vibrio alginolyticus* の可能性があります。
- 疑わしいコロニーは生化学的および免疫学的試験を用い

て同定して下さい。

品質管理

本培地は必要な性能を満たすため設計、開発されたものです。各製造ロットの品質管理試験結果を記載した試験成績証明書はご要望により提供することが可能です。

留意事項

- 発育は微生物各個体の要求性に左右されます。従って、栄養要求性の厳しい一部の *Vibrio* は発育しない場合があります。
- *Vibrio fluvialis* や *Vibrio alginolyticus* など数種のビブリオは、*Vibrio parahaemolyticus* と似たピンク色のコロニーを形成する場合があります。
- *Vibrio mimicus* や *Vibrio metschnikovii* など数種のビブリオは、*Vibrio cholerae* と似た青色もしくは青緑色から緑色のコロニーを形成する場合があります。
- *Vibrio* 属以外の微生物が培地上に発育し、青色、緑色、青緑色、ピンク色のコロニーを形成する場合があります。
- 試験に供する検体が多岐に渡る場合は、本培地が検体に適しているか検討されることをお勧めします。

性能

52 種類の食品検体（人為的に *Vibrio cholerae* または *Vibrio parahaemolyticus* を接種した 16 検体を含む）および 10 種類の環境検体（人為的に *Vibrio cholerae* または *Vibrio parahaemolyticus* を接種した 4 検体を含む）を用いて chromID™ Vibrio を評価しました。試験は ISO/TS 21872-1 に従い行いました。

検体を 6 時間アルカリ生理食塩ペプトン水（ASPW）で培養後、培養液を chromID™ Vibrio および TCBS 寒天培地に塗抹し 37°C で 24 時間培養しました。同時に培養液を同じく ASPW に接種し更に 18 時間培養し、この培養液を chromID™ Vibrio および TCBS 寒天培地に塗抹し 37°C で 24 時間培養しました。

検出感度

ASPW で 6 時間培養後、または 6 時間培養 + 18 時間培養後に各選択平板培地に塗抹、培養した際の陽性結果数 / 陽性結果数

		chromID™ Vibrio		TCBS	
		6 時間	6+18 時間	6 時間	6+18 時間
食品検体 N=52	Vp	15/15	19/19	10/15	17/19
	Vc	8/9	8/9	9*/9	9*/9
環境検体 N=10	Vp	2/3	4/4	2/3	4/4
	Vc	2/2	2/2	2/2	2/2
合計 N=62	Vp	17/18	23/23	12/18	21/23
	Vc	10/11	10/11	11*/11	11*/11

*: 非典型青緑色のコロニーを形成した 1 株を含む

発色特異度

		chromID™ Vibrio		TCBS	
		陰性	偽陽性	陰性	偽陽性
	Vp	29	10	23	16
	Vc	34	17	18	33

廃棄処理

使用済みもしくは使用していない試薬の廃棄は他の汚染した廃棄材料と同様、感染性もしくは感染の危険のある製品の取り扱い方法に従って行って下さい。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

参考文献

1. DALSGAARD A., The occurrence of human pathogenic *Vibrio* spp. and *Salmonella* in aquaculture – *International Journal of Food Science and Technology*, 1998, vol. 33, n°2, p. 127-138.
2. FDA/BAM : May 2004 – *Vibrio* – Chapter 9.
3. ISO/TS 21872-1 : 2007 Horizontal method for the detection of potentially pathogenic *Vibrio* spp. Part 1: Detection of *Vibrio parahaemolyticus* and *Vibrio cholerae*

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照
	<n>回分の試験を含む
	遮光

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CSセンター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2669(代表)



シスメックス・ビオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号

大崎セントラルタワー8階



bioMérieux SA

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

http://www.biomerieux.com

